3−1 道徳

主題名　本当の友達なら言えるかな・・・？

２−（３）信頼・友情　【資料　絵はがきと切手】　（60分間　４M）

子供の目標

７０円料金が不足していたことを正子さんに伝えようか迷うひろ子さんの立場になって話し合うことを通して、友達に対する接し方について考えを深めることができるようにする。

保護者の目標

人（友達）に対する接し方について、子供や保護者と共に話し合うことを通して、人とつき合うことにかかわる考えを深めながら、保護者として子供の道徳学習の内容や方法について知ると共に、子供に対する関わり方についての考えを深める。

教師の支援

導入　なかよしの友達を思いだし、本時のめあてを知る。(5)

今日は、お父さんやお母さんと一緒に友達のことについて考えるんだね。楽しそうだなあ。

一緒に学習することを伝え、双方の意欲を高める。

展開　お話を聞き、不足のことを伝えるかどうか話し合う(45)

絵はがきと切手

転校していった仲良しの友達正子から絵はがきが届いた。定形外郵便だったことを知らなかった正子は、５０円切手しか貼っておらず、不足の７０円は、受取手であるひろ子の家が支払った。はがきには、きれいな風景のことと今度遊びに来てほしいという内容が書かれていた。読みながら正子の優しい気持ちが伝わってきたひろ子は、兄が言うように７０円不足だったことをきちんと伝えようか、それとも母が言うようにお礼だけにしようか迷うのであった。

自分ならどうするかな？

伝えない

- せっかく手紙をくれたのだから
- 相手がいやなきもちになる
- きらわれるかもしれない
- もう遊んでくれなくなるかも
- ７０円くらいはらってもいい
- 遊びに行ったときに口で言う

伝える

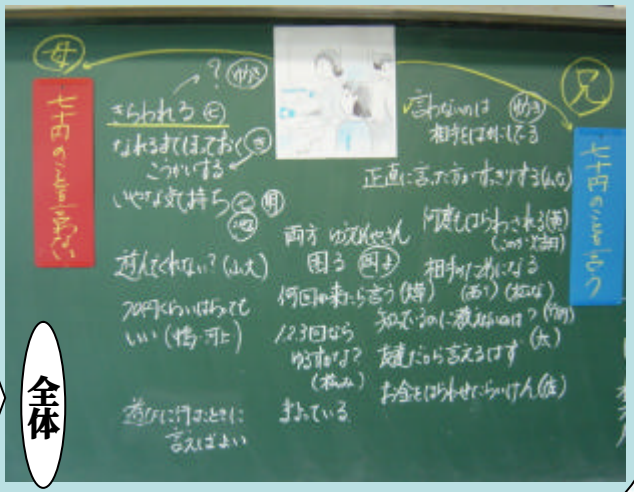
- きちんと教えてあげる方が相手のためになる　それが友達
- 知っているのに教えないのはいけない
- 正直に言った方がすっきりする
- ７０円といえどもお金がかかった

定形外郵便などその場の状況を説明し、ひろ子のおかれている立場を十分理解させる。

個人（10）

グループ（10）

全体（25）



保護者も自分の正直な考えでグループ活動に参加してもらうように働きかける。

全体の場では、意見異同を明確にさせながら、板書し、理由をはっきりさせるように促す。

終末　本時を振り返り、もう一度自分の考えを書く(10)

その人のおかれている場合場合によっていろいろ違うので、その都度しっかり考えることが大切なんだなあ。

保護者の意見を子供から引き出し、感想を求め、一緒に学んだよさを価値づける